

学びの実感

ことばのちからは 生きる力

拡大図と縮図『形が同じで大きさが違う図形を調べよう』

◎少人数での研究授業でした。無事採用試験の一次試験を合格した細倉先生。おめでとうございます。今回の授業研究が、採用試験の参考になれば幸いです。

◆今回の取り組み◆

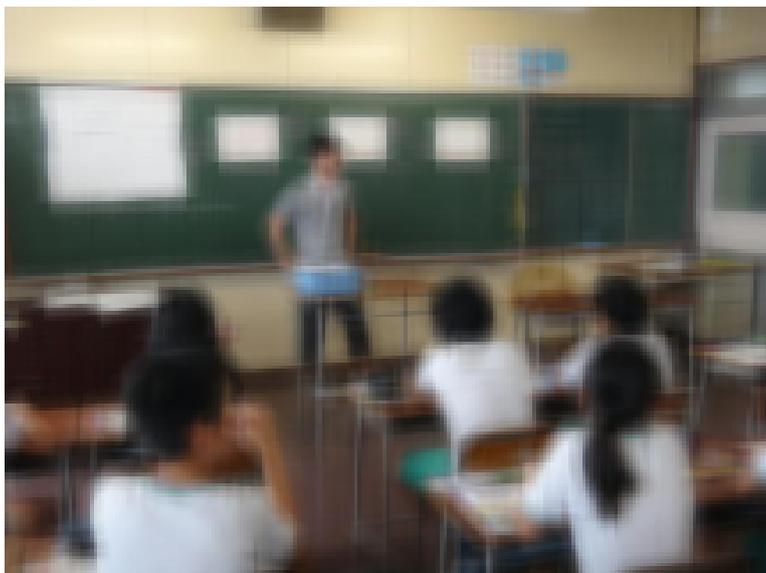
すでに上記しましたが、少人数指導の半分のグループに対して事前授業に取り組みました。

進度を合わせるために、事前授業をしていないグループは自習体制を取りました。

古城小学校の先生方(麻子先生)の柔軟な取り組みです。

普通はしたくても、なかなかできませんよね。

たくさんの先生方の協力体制(アイディア、時間調整、場所の提供等)があって、研究が進んでいくのかもしれませんが、個人研究では見えてこない部分が、校内研究では見えてくるのでしょうか。



◇事前授業から◇

指導過程に再考を重ね、同じ単元で事前授業に取り組み、以下のような課題等が浮かび上がってきました。

▲課題その1

教師が子供たちの考え方(作図の方法やまとめ方)をどのように導いたらよいか。
→「3つの条件」で書くことができるように知らせる。

▲課題その2

自力解決の際に、「はかせ」を強調し、必要最小限の条件で書かせたいがどのような方法があるか。→教師が板書の際に図形の周りに使った条件を記入していく。

▲課題その3

理解力に差がある子供たちの理解を十分なものにするためにどうしたらよいか。→適応問題のスマールステップを準備する。



【事後検討会】

〈自評〉

- 3つの方法以外に解き方を考えた児童をどのように取り上げればよかったのか分からなかった。
- 自力解決の時間をもう少し短縮できなかったか。最後に時間がなくなってしまった。
- 自力解決の時間に、子供たちの考えをどのように声がけをすればよいか難しかった。
- 発問の吟味、褒め言葉を使うことがうまくできなかった。
- ペア学習の時に看取りがうまくできなかった。

〈参観者から〉

- ① 子供たちへの最初の指示がとても分かりやすかった。
 - ・何の道具を使う？
 - ・目盛りがないときにはどのように書いたらいいかな？
 - ・「はかせ」の考え方でやろうね。
- ② 板書に作図の方法（3つのステップ）を書いたところがとてもよかった。理解力が低い子にもとても分かりやすかったように思う。
- ③ 児童が作図の方法を説明する際には、きちんとした言葉（算数用語）を使わせるべきだった。
 - ×角Bから線を引く。
 - 頂点Bから線を引く。
- ④ 児童が黒板に自分の考えを書く際には、3つのステップを同色ではなく。色を変えて視覚に訴えるようにすればよかったのではないかな。そうすれば理解力が低い子にとっても、さらに分かりやすかったように思う。



【課題のリレー】

(有効・・・○ 課題・・・●)

- 事前授業で見てきた課題をに対して、自分の考えをある程度用意しておくに対応しやすくなる。
- 算数のペア学習のあり方について。『自分の考えを話す。』『友達の発表を聞く』だけでよいのか。
- 机間巡視をする際の『座席表』について。どのような形が、記録となり、評価を助けてくれるのか。



次回の授業研究は…

9月5日（木） 4時間目

6年1組（麻子学級）「拡大図と縮図」

学年部授業ですが、みんなで参観し、みんなで感想を伝えましょう。

※最後にもう一度。「細倉先生、一次試験合格おめでとうございます。二次に向けて頑張ってくださいね。一緒の職場で働けることを楽しみにしています。』『ゼンマイを巻いたも

のだけが前へ進むことができるのです！』『前に進んだ者だけが転べるのです！』両方とも受け売り…。

乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(._.)m